

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-062277

(43)Date of publication of application : 29.02.2000

(51)Int.Cl.

B41J 21/16
B42D 15/04
G09F 3/00

(21)Application number : 10-244440

(71)Applicant : TOPPAN FORMS CO LTD

(22)Date of filing : 14.08.1998

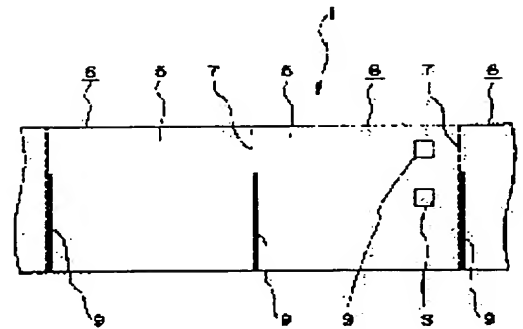
(72)Inventor : HIWATARI JO
KINOSHITA KAZUYUKI

(54) CONTINUOUS PRINTING METHOD AND CONTINUOUS PRINT SHEET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To designate a print mode by mechanical operation.

SOLUTION: A decision is made whether a print mode mark 9 arranged along a perforation 7 corresponding to each unit sheet 6 is detected or not based on the fact whether a sensor S is disposed in the moving path of the mark 9 or not. One print mode is then selected from a plurality of preset print modes depending on the fact whether the mark 9 corresponding to the position of the sensor S is detected or not and printed onto each corresponding unit sheet 6.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

10.10.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-62277

(P2000-62277A)

(43) 公開日 平成12年2月29日 (2000.2.29)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
B 4 1 J 21/16		B 4 1 J 21/16	
B 4 2 D 15/04		B 4 2 D 15/04	B
G 0 9 F 3/00		G 0 9 F 3/00	E

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平10-244440

(22) 出願日 平成10年8月14日 (1998.8.14)

(71) 出願人 000110217

トッパン・フォームズ株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72) 発明者 樋渡 丈

埼玉県鶴ヶ島市五味ヶ谷3-5-205

(72) 発明者 木下 和之

神奈川県相模原市相模大野1-9-5

(74) 代理人 100077986

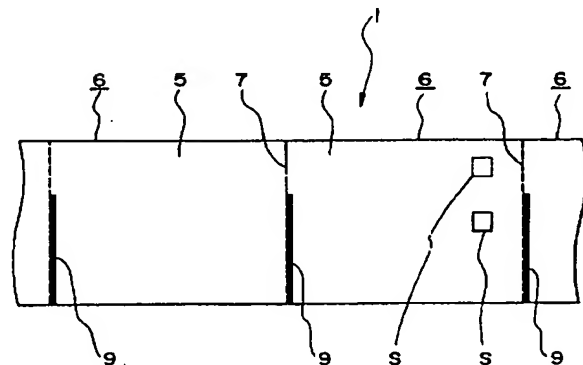
弁理士 千葉 太一

(54) 【発明の名称】 連続プリント方法及びプリント用連続シート

(57) 【要約】

【課題】 機械的操作によってプリント態様の指定を行う。

【解決手段】 各単位シート6に対応して切り用ミシン目7に沿って設けたプリント態様指示マーク9の検出の有無を、検出センサSをプリント態様指示マーク9の移動経路に対応させて設置するか、移動経路から外して設置するかで決定し、この検出センサSの位置に応じたプリント態様指示マーク9の検出の有無に応じて、あらかじめ設定した複数のプリント態様から一つのプリント態様を選択し、この選択したプリント態様を前記対応する各単位シート6にプリントする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の単位シートを切り取り部を境に連続してなるプリント用連続シートを移送しながら連続的にプリントする連続プリント方法であって、各単位シートに対応して設けたプリント態様指示マークの検出の有無を、検出センサを前記プリント態様指示マークの移動経路に対応して設置するか、この移動経路から外れた位置に設置するかで決定し、この検出センサの位置に応じたプリント態様指示マークの検出の有無に応じて、あらかじめ設定した複数のプリント態様から一つのプリント態様を選択し、この選択したプリント態様を前記対応する各単位シートにプリントすることを特徴とする連続プリント方法。

【請求項2】 複数の単位シートを切り取り部を境に連続してなるプリント用連続シートであって、各単位シートは、その表面側に、あらかじめ設定した複数のプリント態様から選択した一つのプリント態様をプリントするプリント部を有する一方、その裏面側に、二つのセンサ領域を有し、一つのセンサ領域には、前記プリント部に対してプリントすべきプリント態様を指示するプリント態様指示マークを設けたことを特徴とするプリント用連続シート。

【請求項3】 単位シートが、表面にプリント部を有し、裏面には粘着剤を塗布してなるラベル基材の裏面に、剥離紙を剥離可能に接着してなることを特徴とする請求項2記載のプリント用連続シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、あらかじめ設定した複数のプリント態様から一つのプリント態様を選択して連続シートにプリントする連続プリント方法及びこの方法に使用するプリント用連続シートに関し、例えば、商品の等級や大きさ、製造年月日、賞味期限、有効期限、製造者等の複数の商品関連情報から選んだいくつもの商品関連情報を組み合わせてなる複数のプリント態様から、一つのプリント態様を選択してプリントするもので、特に、二つのプリント態様から一つを選択してプリントするのに適した連続プリント方法及びこの方法に使用するプリント用連続シートに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、あらかじめ設定した複数のプリント態様から一つのプリント態様を選択して連続シートにプリントするには、プリンタを制御するコンピュータにあらかじめ複数のプリント情報をデータ入力しておき、これらプリント情報の中から所望の情報を指定してプリンタに出力し、この出力内容をプリントするのが一般的である。

【0003】しかしながら、従来の一般的な方法によると、高齢者のようなコンピュータ操作に不慣れな者には、プリント情報を指定することは困難で、操作に手間

取るとともに、作業ミスも多いという不都合があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、この不都合を解消して、機械的操作によってプリント態様の指定が可能な連続プリント方法及びこの方法に使用するプリント用連続シートを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するために、本発明の請求項1に記載した連続プリント方法は、複数の単位シートを切り取り部を境に連続してなるプリント用連続シートを移送しながら連続的にプリントする連続プリント方法であって、各単位シートに対応して設けたプリント態様指示マークの検出の有無を、検出センサを前記プリント態様指示マークの移動経路に対応して設置するか、この移動経路から外れた位置に設置するかで決定し、この検出センサの位置に応じたプリント態様指示マークの検出の有無に応じて、あらかじめ設定した複数のプリント態様から一つのプリント態様を選択し、この選択したプリント態様を前記対応する各単位シートにプリントすることを特徴とする。

【0006】また、上述の目的を達成するために、本発明の請求項2に記載したプリント用連続シートは、複数の単位シートを切り取り部を境に連続してなるプリント用連続シートであって、各単位シートは、その表面側に、あらかじめ設定した複数のプリント態様から選択した一つのプリント態様をプリントするプリント部を有する一方、その裏面側に、二つのセンサ領域を有し、一つのセンサ領域には、前記プリント部に対してプリントすべきプリント態様を指示するプリント態様指示マークを設けたことを特徴とする。

【0007】また、上述の目的を達成するために、本発明の請求項3に記載したプリント用連続シートは、上述した請求項2の構成において、単位シートが、表面にプリント部を有し、裏面には粘着剤を塗布してなるラベル基材の裏面に、剥離紙を剥離可能に接着してなることを特徴とする。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明を鶏卵の包装容器に貼付するラベルを得るためのプリント用連続シートへのプリント方法に適用した場合の好適な実施形態を添付図面に基づいて説明する。ここにおいて、図1はプリント用連続シートの表面側の一部を示す概略的な斜視図、図2は図1のA-A線断面図、図3はプリント態様指示マークたるラインマークと検出センサの位置関係を示すプリント用連続シートの裏面側の概略的な平面図、図4はプリント部に印字したプリント用連続シートの一部を示す概略的な平面図である。

【0009】まず、プリント対象となるプリント用連続シートについて説明する。図1～図3に示すように、プリント用連続シート1は、表面全面がプリント部3とな

り、裏面には粘着剤4を塗布してなるラベル基材2の裏面に、剥離紙5を剥離可能に接着してなる単位シート6が、切り取り部たる切り用ミシン目7を境に接続してなる。

【0010】ラベル基材2は、切り用ミシン目7と平行に伸びるスリット8によって二分割され、それぞれがラベル2a、2bを形成する。前記ラベル基材2は、単位シート6毎の剥離紙5よりも一回り小さく形成し、各ラベル2a、2bの剥離紙5からの剥離を容易にしている。そして、単位シート6を区画形成する切り用ミシン目7は剥離紙5に設けられている。

【0011】プリント部3には、各ラベル2a、2b毎に、大きさの等級を英文字記号で示す「種類」、収容重量を示す「重量」、収容重量の計量責任者名を示す「卵重計量責任者」、容器詰めした場所を示す「包装場所」、大きさの等級分けを行った年月日を示す「格付日」、賞味期限の年月日を示す「賞味期限」、保存の方法を示す「保存方法」、使用の方法を示す「使用方法」の各項目の商品情報のうち、所定の項目の商品情報を選択してなるプリント態様で印字する。

【0012】すなわち、上述した各項目の商品情報のうち、「種類」、「重量」、「卵重計量責任者」、「包装場所」、「賞味期限」、「保存方法」、「使用方法」の各商品情報からなるプリント態様を各ラベル2a、2bにプリントする第1プリント態様と、「種類」、「重量」、「卵重計量責任者」、「包装場所」、「賞味期限」、「保存方法」、「使用方法」の各商品情報からなるプリント態様をラベル2aにプリントし、「種類」、「重量」、「卵重計量責任者」、「包装場所」、「格付日」の各商品情報からなるプリント態様をラベル2bにプリントする第2プリント態様(図4参照)とがあらかじめ設定されており、これら二つのプリント態様の何れか一方を選択してプリントするよう構成している。

【0013】図3に示すように、プリント用連続シート1の裏面には、各切り用ミシン目7に沿ってプリント態様指示マークたる線状のラインマーク9を、剥離紙5の裏面にプリントして設けている。このラインマーク9は、後述する検出センサSの検出位置に対応する第1センサ領域に設けられたもので、プリント用連続シート1の裏面の幅方向を二分する一方側の部分(図3の下側部分)を占めている。そして、プリント用連続シート1の裏面の幅方向残り部分が、検出センサSの非検出位置に対応する第2センサ領域である。

【0014】同じく図3に示すように、ラインマーク9を検出する検出センサSは、その設置位置を、第1センサ領域に対応するラインマーク9の移動経路に対応する位置(図3実線位置)と、第2センサ領域に対応するラインマーク9の移動経路から外れた位置(図3仮想線位置)とに、設定可能である。そして、ラインマーク9を検出した場合には第2プリント態様を選択してプリント

部3にプリントし、ラインマーク9を検出しない場合には第1プリント態様を選択してプリント部3にプリントするよう構成している。

【0015】続いて、プリント動作について説明する。検出センサSを第1センサ領域に対応する図3実線位置に設置した場合には、この検出センサSはプリント用連続シート1の移送とともに移動してくるラインマーク9を検出する。検出センサSからプリンタ(図示せず)にラインマーク9の検出信号が入力すると、プリンタは、検出したラインマーク9が設けられた切り用ミシン目7に続いて移送されてくる単位シート6に対して、図4に示すように、第2プリント態様を各ラベル2a、2bのプリント部3にプリントする。

【0016】一方、検出センサSを第2センサ領域に対応する図3仮想線位置に設置した場合には、この検出センサSはラインマーク9を検出しない。この場合には、プリンタ(図示せず)は、移送されてきた次の単位シート6に対して、第1プリント態様を各ラベル2a、2bのプリント部3にプリントする。

【0017】このようにして、検出センサSがラインマーク9を検出した場合と、しない場合とに応じて、単位シート6の各ラベル2a、2bのプリント部3に、あらかじめ設定した第1、第2の各プリント態様の一方を選択してプリントすることができる。そして、プリントした各ラベル2a、2bは、剥離紙5から剥離して、所定の包装容器の側面等の適所に、裏面の粘着剤4で貼着することができる。

【0018】なお、本発明は上述した実施形態に限られるものではなく、例えば、ラベル基材2はスリット8によって二つのラベル2a、2bに区画する必要はない。また、プリント用連続シート1のプリント部3はラベル2a、2bの表面に限らず、プリント用連続シート1自体の表面でもよい。この場合には、ラインマーク9もプリント用連続シート1自体の裏面側に設けることになる。そして、このプリント用連続シート1自体にプリント部3を設けた場合には、各単位シート6は粘着剤を有しないので、包装容器内に鶏卵とともに収容することになる。さらに、プリント態様指示マーク9の形状も線状に限らず、その設ける位置も切り用ミシン目7に沿った位置に限らない。

【0019】

【発明の効果】このようにして、本願の請求項1の発明である連続プリント方法によれば、検出センサの位置を変えろという機械的操作によって、プリント態様指示マークの検出の有無を決定するので、コンピュータ操作に不慣れな高齢者でも容易にプリント態様を選択してプリントできるという効果を奏する。

【0020】また、本願の請求項2の発明であるプリント用連続シートによれば、プリント態様指示マークを裏面の一方のセンサ領域に設けることによって、各単位シ

ートのプリント部に所望のプリント態様を確実に、連続的にプリントできるという効果を奏する。

【0021】また、本願の請求項3の発明であるプリント用連続シートによれば、上記請求項2の発明の効果に加えて、ラベル表面にプリント部があるので、包装容器等の適所にこのラベルを貼着して使用でき、情報の確認を容易にできるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】プリント用連続シートの表面側の一部を示す概略的な斜視図。

【図2】図1のA-A線断面図。

【図3】ラインマークと検出センサとの位置関係を示すプリント用連続シートの裏面側の概略的な平面図。

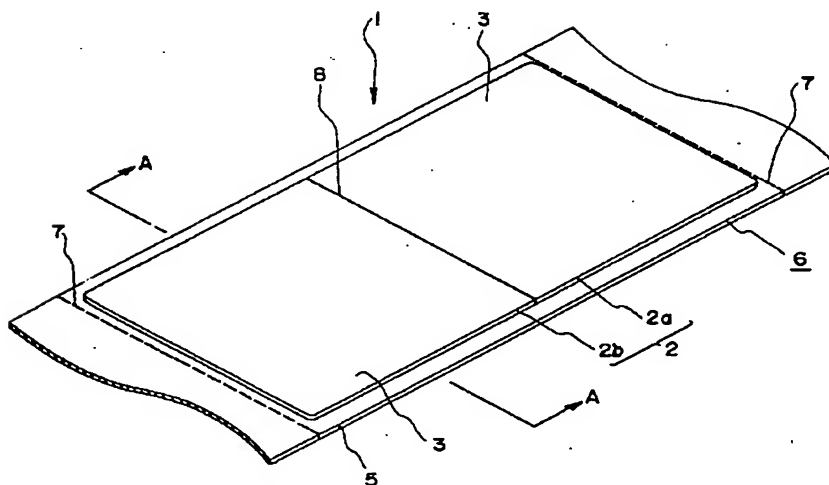
【図4】プリント部に印字したプリント用連続シートの

一部を示す概略的な平面図。

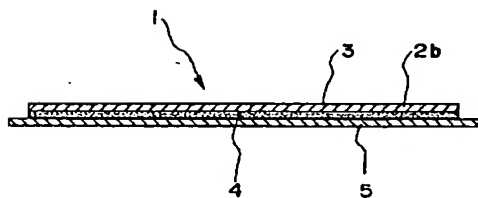
【符号の説明】

- 1 プリント用連続シート
- 2 ラベル基材
- 2a, 2b ラベル
- 3 プリント部
- 4 粘着剤
- 5 剥離紙
- 6 単位シート
- 7 切り用ミシン目
- 8 スリット
- 9 ラインマーク
- S 検出センサ

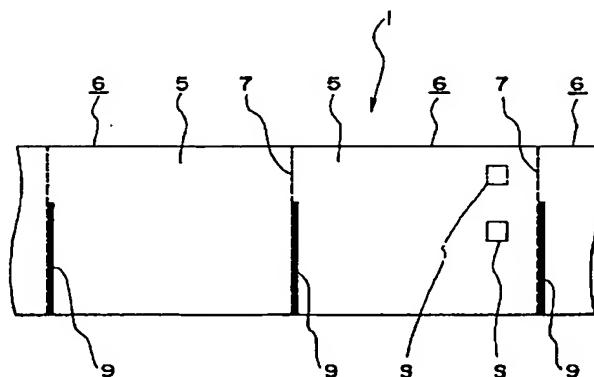
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

The diagram shows a label with two sections, 2a and 2b, each containing a table of product information. Section 2a is the top part, and section 2b is the bottom part. Both sections have a similar layout with a header row and several rows of information.

Section 2a:

種 類	M	重量	10 kg 詰
製造計量責任者	養鶏太郎		
包 装 場 所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁〇〇番地 〇〇GPセンター (〇〇養鶏場)		
賞 味 期 限	平成10年×月×日		
保 存 方 法	冷蔵庫 (10℃以下) で保管してください。		
使 用 方 法	生食の場合は賞味期限内に使用し、賞味期限後は十分加熱調理してください。		

Section 2b:

種 類	M	重量	10 kg 詰
製造計量責任者	養鶏太郎		
包 装 場 所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁〇〇番地 〇〇GPセンター (〇〇養鶏場)		
納 付 日	平成10年△月△日		

Labels 1, 3, 5, 6, 7, and 8 point to various parts of the label structure.